

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課  
 担当名: 野生生物担当  
 内線: 3143

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P18	生物多様性保全総合対策事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費		
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	生物多様性基本法、生物多様性国家戦略、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1003 生物多様性の保全	SDGsゴール	15, 17 SDGsターゲット 15-8, 15-9, 17-17	
1 事業の概要	<p>多種多様な動植物が生息・生育できる自然環境を保全・創出し、多様な生態系を維持するため、希少野生生物の保護や特定外来生物の防除を県民他多様な主体の参加により行う。</p> <p>ア 生物多様性保全推進事業 △ 85千円                      エ 特定外来生物総合対策事業 △853千円                      オ アライグマ計画防除実施事業 △ 69千円                      カ 外来カミキリ対策事業 △335千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 生物多様性保全推進事業(通年) 673千円 → 588千円                      現行の埼玉県生物多様性保全戦略の検証を行い実効性のある次期戦略改訂に向けた検討を行う。</p> <p>イ ムサントミヨ保全対策事業(通年) 25,049千円                      県の魚であるムサントミヨの生息地元荒川の水源維持と、保護センター等で個体の保護増殖を実施する。</p> <p>ウ シラコバト保全対策事業(通年) 935千円                      野外のシラコバト個体数の変動を見守り、保護増殖施設を確保し、飼育下個体の野生復帰に向けた検討を行う。</p> <p>エ 特定外来生物総合対策事業(通年) 6,299千円 → 5,446千円                      特定外来生物防除対策の検討、新規侵入への早期対応及び普及啓発などの総合対策を行う。</p> <p>オ アライグマ計画防除実施事業(通年) 40,349千円 → 40,280千円                      「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づくアライグマの防除を計画的、適切に実施する。</p> <p>カ 外来カミキリ対策事業(通年) 8,430千円 → 8,095千円                      外来カミキリの県内への蔓延・定着を防止するため、早期対応を推進する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉県生物多様性保全戦略改訂検討委員会等の開催                      イ ムサントミヨの飼育分散の実施                      ウ シラコバト生息状況調査の実施、保護増殖施設での飼育、展示                      エ 防除対策方針の検討、新規侵入への早期対応、普及啓発                      オ 埼玉県アライグマ防除計画に基づく捕獲等の実施                      カ 外来カミキリの県内での蔓延・定着の防止のため早期対応の推進</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 埼玉県生物多様性保全戦略の改訂及び関係機関との連携体制整備により、県内の生物多様性が保全できる。                      イ 県の魚で希少な魚ムサントミヨを継続的に繁殖し保護することで、種の絶滅を防ぐことができる。                      ウ 県民の鳥でコバトンのモデルであるシラコバトを将来にわたって保全できる。                      エ 農林水産業、人及び生態系への被害を防止することができる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 委託契約差金による減額 △726千円 イ 委員会等開催回数等の見直しによる減額 △126千円                      ウ 経費節減による減額 △490千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.4人=13,300千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,342	繰入金	△335					△1,007	80,393
現計額	81,735		8,430					73,305	

## 事業内訳書

事業名	生物多様性保全総合対策事業費		
単位事業名	生物多様性保全推進事業	予算額	△ 85千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△85	—	
合計	△85	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△50	—	経費節減による減
需用費	△30	—	経費節減による印刷製本費の減
役務費	△5	—	経費節減による通信運搬費の減
合計	△85	—	

単位事業名	特定外来生物総合対策事業	予算額	△ 853千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△853	—	

単位事業名	特定外来生物総合対策事業	予算額	△ 853千円
-------	--------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△853	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△44	—	現地調査実施回数見直しによる減
需用費	△40	—	経費節減による消耗品費の減
役務費	△29	—	経費節減による手数料の減
委託料	△726	—	契約差金の発生による減
使用料及び賃借料	△14	—	打合せ回数見直しによる減
合計	△853	—	

単位事業名	アライグマ計画防除実施事業	予算額	△ 69千円
-------	---------------	-----	--------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△69	—	
合計	△69	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△35	—	委員会開催回数見直しによる減
役務費	△1	—	経費節減による通信運搬費の減
使用料及び賃借料	△33	—	委員会開催回数見直しによる減
合計	△69	—	

単位事業名	外来カミキリ対策事業	予算額	△ 335千円
-------	------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△335	—	

単位事業名	外来力ミキリ対策事業	予算額	△ 335千円
-------	------------	-----	---------

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△335	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△335	—	経費節減による消耗品費の減
合計	△335	—	